

旧車や名車で賑わいを

北海道クラシック
カーミーティング
実行委員会



▲めずらしい旧車や名車が所狭しと並び、来場者を楽しませている

毎年6月に、日本や外国の旧車などが富良野に集結する北海道クラシックカーミーティングin富良野。4年目を迎えた今年も、道内外から集まった約200台の名車が来場者を魅了しました。

主催する実行委員会（畑山修一実行委員長）は、現在市内の愛好者を中心に17人で組織しています。過去には赤平市で開催され、愛好者たちの間で赤平市は聖地と呼ばれていました。しかし、20回目の開催を最後にイベントが終了。当時旧車を出品していた畑山さんは「富良野でイベントがでないか」と思うようになり、市内に住む愛好者たちに声をかけながら、開催に向けて準備を進めました。「同じ気持ちで手伝ってくれるメンバーを集めるのは大変でした」と当時を振り返る畑山さん。「富良野らしさをPRできる場所」と考え、会場もぶどうヶ丘公園駐車場に決定し、平成22年に実行委員会を設立。これまで交流してきた仲間とともに「まちおこし」の一つとして大きな一歩を踏み出しました。



▲表彰式では一番古い車を表彰する高齢者賞をはじめ、各種部門賞が多数用意され、受賞者に手渡されている

イベントでは、前日にドライブしながら富良野地域を満喫するツーリングや前

夜祭が開催され、他のまちの人との交流や情報交換の場づくりも行われています。実行委員会のメンバーをはじめ、地域の団体もイベントをサポートしてくれるなど、「これからも人と人とのつながりを大切にしたい」と感謝の思いを話す畑山さん。来年からは、会場の露店なども地域の商店街の協力を得ながら「オール富良野で開催したい」と意気込みます。



▲車の近くではオーナーと来場者が名車を見ながら楽しく談笑。愛好者同士のコミュニケーションの場にもなっている

また、個人でも各地域のクラシックカーイベントに参加し、交流の輪を広げながら富良野をPRしている畑山さん。「同じ思いを持つ方はぜひ一緒に楽しみましょう」と実行委員会の仲間も募集しながら、来年も富良野を盛り上げる活動が展開されます。